

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

4月30日現勢 組合員 10,482人
機関紙 6,448部
年金切り下げ阻止2013年度版署名 5,170筆



神奈川県版 第299号 2013年5月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
TEL.03(5978)2751 FAX.03(5978)2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



一斉に街頭へ36支部 年金2.5%減るなんて絶対反対

めげずに署名書くわ 年金者組合に拍手・声援・加入

年金受給日の4月15日、36の支部が「2.5%年金削減に反対し、原・津久井・海の三浦、横浜、川崎まじよう」と署名、組合加入を呼んでまで全県に響きわたりました。

はじめての三浦

津久井はスーパー前で、4月15日、集まってくれた仲間17人。集めた署名は100筆を超えました。マイクを持って駅前に行く市民へ「安倍政権がやろうとしている2.5%もの年金を切り下げないで」と訴え、特に女性の年金の低さを話すと、買い物帰りの主婦から拍手が返ってきました。津久井支部は城山スーパー前で署名を集めました。



100筆集めた三浦支部の宣伝(京急・三浦海岸駅)



津久井支部(城山スーパー)

逗子・葉山支部

JR逗子駅前で5人でおこない、チラシ200枚、署名27筆集まりました。この10月から1%下げられると言うと「本当、多かったです。」



逗子・葉山支部(JR逗子駅)

茅ヶ崎支部

イトーヨーカドー前に14人が参加。午前11時から正午まで。署名33筆。チラシ300枚。大岡祭の準備で人通りが多かった。



中支部(伊勢佐木町)

座間支部

5人で小田急相武台駅前、チラシ70枚、署名20筆。誰もが年金の減額に怒り、生活の不安を訴えていました。



「2.5%の年金削減反対」「削減を決めた法の改正」を求めて4月19日、国会行動Ⅱ写真上。衆参全議員に要請しました。全国の年金者組合の代表と首都圏から800人を超す組合員が、東京日比谷野外音楽堂で「年金削減」に反対する行動の交流の後、国会までデモ。神奈川県から200人参加。日本共産党の国会議員だけが激励に駆けつけました。



小田原支部(JR小田原駅)

小田原地方支部

JR小田原駅前に10人が参加。1時間で署名66筆。署名した方から「年々年金が減っている。消費税なんてとんでもない」「遺



鶴見支部

区役所前に6人参加のほり旗4本、横断幕とにぎやかに取り組み、1時間で30筆集まりました。



鶴見支部(鶴見区役所)



座間支部(相武台)

栄支部

JR本郷台駅前。偶然新婦人の会と一緒になりました。「何度書いても政治に届かないわよね。めげずに書くわ」庶民の願いを聞き届けてくれる議員勢力をつくらなく」との声が上がりました。



麻生支部(新百合ヶ丘駅)

秦野支部

2回目の宣伝を秦野駅頭で6人がゼッケンをつけて行いました。



秦野支部(秦野駅)

麻生支部

新百合ヶ丘駅前にて全部で14人参加。年金署名は45筆。新しい横断幕に注目「年金下がるの?」と聞く方も。加入チラシに早速反応がありました。

春の月間

「仲間増やし月間」が4月1日から始まり1カ月、6月20日までに1万2000人の神奈川県にろうと頑張っています。年金の2.5%削減に反対する年金者組合の働きかけで、高齢者の怒りで4支部が目標を達成しています。

サークルや運動に共感 モチベーション高めて中盤へ

近年にはない好スタートですが、内容は108人加入83人退会、実増23人。退会者は例年を上回り、加入者の絶対数が大きく下回っています。サークル行事など老後の楽しみを旺盛に増やす、外に打って出るなどすれば目標は達成できます。

取り返した税金

県本部で「年取400万円以下の年金生活者は、確定申告は不要」と国の方針が出されたこと

港南支部 野上敏和

加納税をした方は、その分の申請があれば返却する制度ができたとお話を聞きました。わたしも追加納税をした対象者なので、びっくり大喜び！

平成23年分が対象になります。即刻、税務署を訪ね書類を提出しました。5分で終わりました。後は、銀行に振り込まれるのを待つだけです。港南支部は毎年「確定申告講習会」を行っています。



ビックリ！大喜び！



相模原支部で作成した社会保障パンフ

支部だより

一人暮らしだから手紙が来るのが嬉しい 泉支部

一人住まいの会員の方には、登録いただき「絵手紙」で励まそうと2009年8月から始めました。当初は「お達者クラブ」という名前でしたが2011年から「花便りの会」に変更しました。今年8月で足掛け4年目になります。

団地に独自の お誘いピラ入れ

相模原支部・東分会 支部では、2月の役員会で春の仲間増やしの方針をきめ、検討を進めてきました。支部には東、西、南、相模、北の5つの分会があります。そのひとつ東分会は、18人の役員と163人の



さあ集まって。団地ピラ入れの準備 (相模原)

火消し&救命士 西支部 青木昭弘

火事の無い時は何も仕事は無いはずと不純な気持ちで昭和46年東京消防庁、大森消防署から始まった消防人生にも、いろいろなことがありました。では、その話の幾つかを。

①よく落ちるな

火災も数回経験し少し慣れてきた寒い2月のことです。2階建ての家が燃えた火災で



足滑り3メートル落下、助かった

火災が時を越すと順番にご馳走になります。疲れたいには最高の味でした。消防署に帰り、次の火

②恐怖の訓練に

こんな訓練、絶対嫌だ。梯子隊員になった頃、今日の訓練は平和島の工業団地。まだ工場はなく広い道路があるだけで周

りにはなにも無い平面。いつものように梯子の先端に乗り、訓練開始。梯子が伸びていき10メートル



230人で第4回「墓前祭」(4月24日)

春の墓前祭

4月24日(水)春の墓前祭が行われました。いつ雨が降り出すかと思われる空模様でしたが、少しパラっただけで、無事に式典が終了。関係者一同安堵の表情に。今回の納骨は11体、参加者は230人。今回から椅子を50脚準備し、ご遺族の方や高齢の方を中心に座っていただきました。献花のあと「ふるさと」を全員で歌い、亡くなられた方々を偲びました。

年金者組合と建設労連の提携住宅事業

住まいるnet

選び抜かれた地元の優良業者をご紹介します。同じ工事をするなら地元の業者が断然お得。

0120-88-5593

お問い合わせ受付時間:9:00~18:00(日曜祝祭日休業)

http://www.smile-coop.jp/ 住まいるnet かながわ 検索

訂正 前号の面「囲碁大会」の記事で「神奈川県後援」とあるのは誤りでお詫言して訂正します。(佐藤信夫)



災害復興支援！
早春の東北を行く

見たこと、聞いたことを 多くの人に伝えていこう！



やっぱりこの目で見なくっちゃ 土台だけが残る——ここが繁華街だったとは

4月16日～18日「災害復興支援！早春の東北旅行」と銘うっての文化部主催のツアーを大型バス2台95人の参加で行きました。行き先は石巻の被災地と小名浜でのお買い物メインに花見山公園と二本松城の見学という行程です。

当初はこんな被害を受けた地域に物見遊山で行ってもいいものか、現地で迷惑されるのでは？と

の意見も出ましたが、受け入れ側の年金者組合宮城県本部から、「被災現場を訪ねてくださるだけでもありがたいと思いき、実行することになりました。」

石巻の組合員が案内 津波のすごさを実感

テレビでみる被災地と現地に来てみる被災地の印象は大きく違っていた。ほとんどの地域はガラキがかたづけられてはいた



宮城県石巻支部の仲間に支援金を渡す土志田公佳委員長(右)

カンパ約26万円を宮城県本部へ
石巻市で現地案内をして下さった年金者組合宮城県本部に、カンパ26万6000円を土志田

カンパ約26万円を宮城県本部へ

委員長が手渡ししました。写真上バスの中で訴え、早く応じていただいた11万6000円のカンパと、



押さないで！ マリンパルにてお買い物

わらった！ おどった！ うたった！ 一夜の交流会



司会を務めるやっちゃんふみちゃんのデコボココンビ

遠刈田温泉と穴原温泉での災害復興支援ツアーの夜は交流会で楽しみました。前もってあまりお願いはしておか

県本部に寄せられたカンパの3分の1の14万円をあわせてお渡ししたものです。県本部に寄せられた残りの分は若手と福島



大川小学校慰霊碑の前で(上) 持参した折り鶴を供える厚木支部の女性(右)



話してくださった。74人もの子供たちが犠牲になった大川小学校の跡地に慰霊碑がたてられ、土志田委員長が花束を、

厚木支部女性の会からは折鶴がたむけられた。運動場に残った遊具に涙し、すぐ近くに裏山があることを見て絶句し...

この現実を風化させてはならないと感じた一日でした。東北、鎮魂の旅。走行距離1800キロ。編集委員大蔵敦子がまとめました。

たためか、1日目は数曲の歌や替え歌、厚木の日本舞踊の出し物でした。2日目は支部や地域で話し合っていたのか、歌やハーモニカの他に趣向をこらした舞台っぽい踊りも披露していただき、会場を沸かせました。支部によつては1人で参加の方や舞台に出られなかつた方もおられたので、みなさんが一緒に楽しめるようにと、スタッフで頭をひねり、2日目の終わりは、きよしのズンドコ節の曲にあわせての輪踊り、青い山脈の歌を会場いっぱい広げて手をつなぎ大きな声で合唱。年金者組合ならではの連帯感と盛り上がりを感じたと好評でした。

参加者の声

(アンケートより抜粋)

- 〈震災の現地に行つて〉
- 「訪ねて下さるだけでもありがたい」ということばに、被災者の傷の深さを感じ、来てよかったと実感した。
- 復興はまだまだの感をもった。この現実を風化させてはならない。1人でも多くの人に伝えていきたい。
- 復興がほとんど進んでいないのには、怒りと悲しみで残念。
- 小学校の裏山の様子に実際にみれて、「あの山に登れ！」と教師集団がきめていたら、小学生たちはきつと登り切れたと思ふと悔しい。涙がでた。
- 体験者の声には感動と生きる力を感じた。
- 原発による放射能汚染は人災として甚大で、再び起こしてはならない。今回、人災を問う調査箇所には行けなかったのが、計画に入れてはしかなかった。
- いい季節で、二本松城や花見山見物なども取り入れて下さり、被災地の悲しみを自然の恵みが、心を和ましてくれた。
- 大川小、また患者も医師も命を落とした被災地に立ち、涙が自然にこみあげ、流れてきた。天災からの教訓を政治に生かすべき。年金者組合だからこそ「失うものは何もない」、運動も活動も
- これから益々発展させていくべきと感じた。
- 今はガレキがなくなっていたが土台だけが広がっている所、1年以上も海水につかっていた住宅地、高台にある女川病院の水位の高さなどを見てゾッとしました。私には何ができるのか、と思つた。
- 地元の方の説明もあり、当時の様子が多々あったのか、臨場感をもつてその場に立つことができた。
- 〈バスの中・ホテルなど〉
- 宴会でズンドコ節や青い山脈などをみんなやれてよかった。年金者組合の連帯感を感じた。
- とても雰囲気の良い旅行だった。みんな和気あいあいと交流できてよかった。
- 旅館の部屋、少々狭かつた。食事や温泉はよかつたが。
- 2日目の旅館、出発前に困らしているのに布団をかたづけに來られた。礼儀に反していると思う。
- 夜の宴会、とっても楽しませてもらった。
- バスの中のごし方、さすがに年金者組合。みんながひとつにまとまってくれしつた。
- 役員のみなさまには、大変お世話になった。車中や宴会でのきめ細かい対応、人のためにこんなに活躍して下さい、忘れられない旅でした。

さわやか 女性だより

No. 41

発行 神奈川県本部 女性の会
編集責任者 大貫多喜子

旭支部 手頃な高年齢者住宅の建築を！

高年齢者支援担当者懇談

3月14日、旭福祉保健センター高年齢者支援担当係長ら2人と懇談しました。まず、全日本年金者組合を知ってもらうため、組合名を大きく書いた名刺を作り、組合グッズと「全国・県女性高年齢者生活実態調査の結果」を渡しました。特に旭は、1戸建てのひとり暮らしの女性が多く、「家」を維持していくのが大変。戸建から年金で入れる住宅への要望が多いので、高年齢者住宅の建築を要望しました。横浜市としての取り組みは今のところ計画はないが、本日、要求があった事は市の行政に活かされます。(梅津弘子)

中支部 折紙サークル誕生！

横浜中支部に折紙の会が誕生しました。名前「折りづるの会」と付きました。今回は5月5日の「端午の節句」に合わせて兜を作りました。なかなかうまくいきませんが、先生に何度もお聞きしてやっと完成。みんなの顔に笑顔が戻りました。



折紙つむつかしい(中支部)

茅ヶ崎支部

4月15日茅ヶ崎支部女性会役員3人で市の民生課に介護と特別養護老人ホームのことについて質問して貰いました。事項を渡し、懇談をしてくれるように申し出てきました。

年金で入れる介護施設を

前のように食卓に上る遺子組換え食物に、はかり知れない恐怖を覚えた」との感想が寄せられました。午後の全体会ではジャーナリストの齊藤貴男さんの「平和で貧困のない社会を」と題した講演があり、今の情勢をとりいれて、アベノミクスが私たちに豊かにするところか、年金の引下げをはじめ、社会保障の切り下げといった百害あって二利なしなどの話を飽きることもなく聞くことが出来ました。集会後雨の中、駅まで行進しました。(原理代)



第58回 神奈川県母親大会

4月20日、第58回県母親大会が藤沢市民会館で開催されました。午前の分科会で、年金者組合は「どうなる社会保障」を担当。助言者には県本部の機関紙で「シリーズ年金あれこれ」の筆者、社会保険労務士の夏野弘司さんが受け持ち、遺族年金の問題、年金の仕組みのこと、財源の問題などについてわかりやすく話してくださいました。

ホールで上映された映画「モンスターの不自然な食べ物」は字幕で画面が少々見づらかったですが、「当たり

女性の会 江ノ島1泊交流集会

5月29日(水)13:00~、30日(木)9:00~12:00
内容・講演「高齢者の生き方」 荻野郁子さん(川崎医療生協 介護福祉事業部長)
・国連傍聴活動報告
・分散会→3・4つに分かれて話し合い
・夜の交流→映画鑑賞、又はレイラ化粧品の実演

介護保険の利用について

パート2「認定から利用するまで」

認定調査が終了すると「介護度」の書かれた保険証が届きます。ケアマネージャーさんにお話ししてケアプランを立てていただきます。ケアマネージャーさんは包括支援センターや地域の訪問介護事業所やケアマネージャーが作成した、訪問ヘルパー事業所やデイケア施設と相談し、1か月のプランを立てます。状態の悪い方は介護度が高くなります。例えば「要介護3」でしたら26万7500円まで使用できます。(1か月)訪問ヘルパーを週2回、デイケアを週2回など自分や家族の希望をいれてケアマネージャーが作成した、訪問ヘルパー事業所やデイケア施設と相談し、1か月のプランを立てます。

◆ 要介護1	は 16580 単位、
◆ 要介護2	は 19480 単位、
◆ 要介護3	は 26750 単位、
◆ 要介護4	は 30600 単位、
◆ 要介護5	は 35830 単位、
◆ 1単位	は 10円です。

神奈川県年金者文芸

- (俳句) 平塚支部 高橋 福松
磯に座しのどけき波の歌を聞く
- 平塚支部 坪井 稔恭
蓮鉢の竜の模様や春の雷
- 横浜緑支部 吉田 一夫
煌めいて風いつのまに初夏なるや
- 鎌倉支部 内田 秀子
合歓咲いてトランペットを吹く少女
- 平塚支部 寺田 公明
タピスリー四方にしどみの花咲かせ

中支部 都築はつ子

- 潮干狩一合拵のおすそわけ
- 三浦支部 村本 悦藏
静かなれりアスの海におぼる月
- (川柳) 川崎麻生支部 阿部 和子
名はいらぬ大本営の見えかくれ
- 旭支部 毛利やすひこ
アベノミクス庶民は物価高に泣き
- 横須賀支部 山田 良夫
譲られて若い気ちよっと恥ずかしい
- 旭支部 本間純根花
9条守り平和な笑顔で活かしたい
- 川崎宮前支部 亜北斎(あほざき)
摩訶不思議身を切るはずが民意切る

年金相談室

毎月第2火曜日 (6月は11日です) 午後1時~4時
年金者組合神奈川県本部
横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル2階
電話 045-663-4061

訃報
元県本部副委員長の和田文夫さんが3月29日に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

9月年金あれこれ 請求は要注意

今年4月以降に60歳を迎える男性で、厚生年金加入が一年以上あり、国民年金などと併せて25年の受給資格を満たしている人は、厚生年金の報酬比例部分の年金が支給されるのは61歳から引き上げられる。(厚生年金の女性は5年遅れて1958年4月以降生まれの人から) そのため、60歳の誕生日の3か月前に日本年金機構から「年金に関するお知らせ」が送られており、「お知らせ」には現時点までの加入記録と61歳から65歳からの年金見込み額が記載されている。また「お知らせ」の説明の中で「老齢年金の繰上げ請求について」の欄に「受給開始年齢になる前でも60歳以降であれば請求することにより繰上げて年金を受け取れます」として、簡単に繰上げ請求で年金を受け取る場合の注

(鎌倉支部) 夏野弘司
社会保険労務士